

意見書

やまなみ 園長 山崎敬太郎殿

園児名

病名 「 」

令和 年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園許可と判断します。

令和 年 月 日

医療機関名

医師名

印

※自署の場合は押印不要

こども園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能となる状態となつてからの登園であるようにご配慮ください。

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後①3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間(発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い)	発症②した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあっては、3日を経過するまで)
風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(アデノウイルス感染症)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎(はやり目)	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157, O26, O111など)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
新型コロナウイルス感染症	発症前2日間から発症後7～10日間は感染する可能性があると言われるが、特に発症後5日間はウイルスの排出量が多く、人に感染させる可能性が高い	発症②した後5日を経過し、かつ解熱した後5日間を経過するまで、かつ症状が軽快してから1日以上経過するまで 無症状の場合、検査で陽性が確認された次の日から5日間経過す

補足

①解熱した次の日を第1日と数える。

②発症とは、発熱の症状が現れたことを指す。発熱した次の日を第1日と数える。

以上はあくまでもめやすであり、診察した医師の判断が優先される。

〈保護者記入用〉

登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。(なお、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。)

幼保連携型認定こども園

やまなみ

登園届(保護者記入)

やまなみ 園長 山崎敬太郎殿

園児名

病名 「 」

令和 年 月 日 医療機関「 」

において病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

保護者名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

こども園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。

なお、こども園での集団生活に適応できる状態に回復してから感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能な状態となつてからの登園であるようにご配慮ください。

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること、発熱が治まっている①こと、発疹がある場合は消失してから
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっている②こと
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
胃腸炎 (乳糖不耐症を除く)	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間はウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐③、下痢④等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間 (便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症 ヒトメタウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し⑤全身状態が良いこと
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

補足

①発熱が無いとは、登園前24時間38℃を超える発熱が無い。登園当日は体温は37.5℃以下で、活気があり機嫌も良いこと。

②咳が治まっているとは、連続した咳がない、喘鳴(ぜーぜー、ひゅーひゅー)やつらそうな呼吸もないこと。

③嘔吐が治まっているとは、登園前24時間嘔吐がない。また、登園当日、食事がとれている、顔色が良いこと。

④下痢が治まっているとは、登園前24時間水様下痢がなく、軟便が1日2回程度である、また、腹痛がないこと。

⑤呼吸器症状が消失しているとは、呼吸の回数も多くななく楽な呼吸をしていること。

以上はあくまでもめやすであり、診察した医師の判断が優先される。